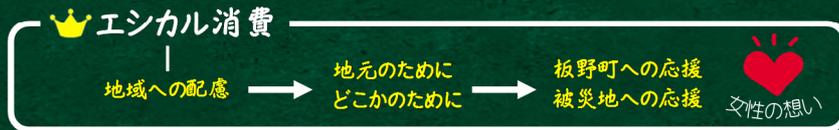


## 実践⑤

### 「女性ならではの思い」

板野町まちづくり女性の会  
吉本幸子

令和元年八月



皆さん、今日は、町内で様々な地域活動や被災地支援に取り組む女性グループ『板野町まちづくり女性の会』の会長である「吉本さん」のお話を聞いてみましょう。それでは、よろしくお願いします。

こんにちは、吉本です。私たちは、結成から約8年、“女性の力を活かした町づくり”を目指し、女性の意見が板野町の取り組みに活かされるよう、町への提言や子育て支援をはじめとする様々な活動を行ってきました。

私たちは、地域の子供たちからお年寄りまでが集まって楽しんでもらえるよう、ひなまつりのイベントを毎年開催したり、ゴミになるものを減らしながら被災地を応援できればと思い、いたの子どもフェスティバルの時に会員から集めた物でフリーマーケットも行い、売上金のすべてを被災地に寄付しています。

女性の会を結成した2011年は、東日本大震災があった年です。私は、被災した友達に女性の目線で選んだ物資を送ったのですが…その友達から「女性ならではの思いが詰まったもので嬉しい。」という言葉聞き、女性目線の必要性を感じると同時に、自分の地域のためにも、女性の目線を大事にした活動が幅広くできればと考え、女性の会の立ち上げに賛同しました。

でも、私たちの会員数では、できることや地域が限られてしまいます。もっと多くの地域で子ども達からお年寄りまで楽しめるようなことをしていきたいので、私たち『まちづくり女性の会』と一緒に活動して下さる方は、事務局の教育委員会(☎672-0136)までご連絡下さいね。

吉本さん、ありがとうございました。やっぱり、女性ならではの目線って必要ですね。来月も、エシカル消費を実践している方のお話を掲載しますので、ぜひご覧ください。板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎672-5994

#### 【ひとくちメモ】

※被災地への支援物資として、下着や小児用おむつなどは、男性が気づきにくい必需品として挙げられます。

### 板野町まちづくり女性の会の取り組み ☎672-0136 (事務局:教育委員会)

まちづくり女性の会では、毎年3月に桃の節句ひなまつりイベントを開催したり、いたの子どもフェスティバルではフリーマーケットを行っている他、徳島工業短期大学が主催する、とくしまクラシックカーフェスティバルin板野では、にんじんジュースを配布することで、板野町の春にんじんのPRなども行っています。



『桃の節句 ひなまつり』



『フリーマーケット』



『春にんじんのPR』



### ある日の先生

?……………  
……………  
何で、気づかないのよ。



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。